

三股ラハ我存留、官吏等々有秋臨時改定心使申立
ル如ク各給紙事申上ルセー、万事取計方以委任
ある可也事存留ハ紙ラハ有秋附料俵銀八百フランノ
ニ高外違日俵銀ある事知知、亦亦、有上申
ル也

明治十三年十二月廿一日

外務卿井上 馨

右ハ右ハ三條實美 殿

上申、趣聞届其筋、相違候事
明治十四年二月十六日

内閣書 令第二 号

開拓使

別紙内務省伺砂糖製造所敷地需用ノ儀
聞届候條成規ノ通可取計此旨相違候事

明治十四年三月二十八日

太政大臣三條實美



北海通騰掘國有豫郡牧營村。於此地坪
六千五百七十八坪六十分之三。勸農局砂糠
造所此地。レシテ受取。而。以。開拓使。以。照。所。以。
爲。何。等。之。權。を。執。リ。該。地。を。賣。地。と。二。種。當。
於。右。兩。地。に。以。法。ある。を。知。り。得。可。う。上。り。之。を。開
拓。使。に。呈。進。す。る。旨。仍。て。砂。糠。造。所。同。く。

石印

同ノ趣簡居事

明治十四年三月二十八日

内閣書 第三号

開拓使

其使所官諸工場拂下ケノ儀、付先般相
達候趣モ有之候處右處分方、付未夕何
等申出モ無之十四年度歳入出豫算ノ調
査ニ際シ興業ノ營業ノ費額取調ノ都合モ
有之候條来ル六月十日限り右處分方見
込取調可申出此旨相達候事

明治十四年五月廿三日

太政大臣三條實美

